

奈良大学大学院の教育課程編成・実施の方針

(カリキュラム・ポリシー)

文学研究科

修士・博士前期課程

【国文学専攻】

- CP1. 日本語と日本文学にかかわる基礎的な知識を学び、それらを専門的な研究手法に応用する姿勢を身につける。
- CP2. 日本語と日本文学を広く文化現象と比較しながら考察してゆく学習方法を熟知し、体得する姿勢を身につける。
- CP3. 文献調査やフィールドワークによって、実証的に考察を進めてゆく学習方法を熟知し、体得する姿勢を身につける。
- CP4. 自らの思考や分析によって得た見解を、討論を通じてより論理的・客観的な研究へと高めてゆく姿勢を身につける。

CP1	上代文学特論、中古文学特論、中世文学特論、近世文学特論、書物特論、メディア文化特論、比較交流特論、和歌歌謡特論、近代小説特論、近代詩歌特論、現代文学特論、古典日本語特論、現代日本語特論、国文学特論、国語学特論
CP2	日本言語文化論、広域言語文化論、表象文化論
CP3	古典散文特殊講義（基礎）・（応用）、古典韻文特殊講義（基礎）・（応用）、近代文学論特殊講義（基礎）・（応用）、言語論特殊講義（基礎）・（応用）
CP4	上代文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中古文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中世文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、近世文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、近代文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、現代文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、古典語国語学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、現代語国語学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

【文化財史料学専攻】

- CP1. 文献史学、考古学、美術工芸史学、保存修復学の基礎的な専門知識を補い、より高度な分析力に活用する。
- CP2. 多様な分野の学術的研究を幅広く学ぶことによって、国際的な視野と幅広い知識を獲得し、多角的な思考力を身につける。
科学的・実証的思考の基礎となる文献史料と実物資料を適切に分析できる力を身につける。
- CP3. 文化財（文化遺産）の調査・保存・修復・活用等に関する専門的な知識と技術を修得する。
- CP4. 研究発表と討論を通して、自ら思考し、分析する姿勢を身につける。

CP1	文献史学特論、考古学特論、美術工芸史学特論、保存修復学特論
CP2	文献史学（日本史）特殊講義A・B・C、文献史学（外国史）特殊講義、考古学特殊講義A・B・C、美術工芸史学特殊講義、保存修復学特殊講義、情報処理論特殊講義

CP3	考古学特殊講義A・B・C、美術工芸史学特殊講義、保存修復学特殊講義、情報処理論特殊講義、文化財修復実習
CP4	文献史学（日本史）演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、文献史学（外国史）演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、考古学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、美術工芸史学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、保存修復学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

【地理学専攻】

- CP1. 専門の基礎的知識を補い、また、専門と関わって研究上広い視野に立つことができる姿勢を身につける。
- CP2. 地理学が、系統地理学としての自然地理学分野と人文地理学分野、それらをかけつなぐ地誌学分野とが文理融合した総合的な性格を持つことを理解し、幅広く、諸現象の成因から、現実には生起する諸問題の解決に向けて取り組む能力を身につける。
- CP3. GISをはじめとする先端的な専門知識、巡検の計画を立案し遂行するための知識と、それらに対する技能を習得し、総合できる能力を身につける。
- CP4. 自らの思考によって解析した研究内容を、少人数教育における参加型授業で発表・議論し、研究指導を受ける。

CP1	自然地理学特論、人文地理学特論、地域・地誌学特論
CP2	自然地理学（地形）特殊講義、自然地理学（気候）特殊講義、自然地理学（環境）特殊講義、人文地理学（農村）特殊講義、人文地理学（歴史）特殊講義、人文地理学（文化）特殊講義、人文地理学（都市）特殊講義、地域・地誌学（日本）特殊講義、地域・地誌学（先進地域）特殊講義、地域・地誌学（発展途上地域）特殊講義、
CP3	地理情報学特殊講義、国内巡検計画Ⅰ・Ⅱ、外国巡検計画Ⅰ・Ⅱ
CP4	自然地理学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、人文地理学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、地域・地誌学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

博士後期課程

【文化財史料学専攻】

- 「特殊研究」は、以下のような目的と内容をもって開講し、その成果を口頭発表や学術論文として発表することを目的とする。
 - ①専門及び関連諸領域の研究状況を的確に把握し、自らの研究を独創的かつ高度な内容にまとめ上げる能力を身につける。
 - ②文献資料の高度な読解力と文化財に関する幅広い知識を身につける。
 - ③研究を遂行する上で遵守すべき規範を理解し、研究者に必要な倫理観を身につける。
- 「博士論文」は、原則として3年間の「特殊研究」における学修の成果をもとに、その間、学術雑誌等に発表した複数の研究成果を踏まえてまとめるものとする。

社会学研究科

修士課程

【社会学専攻】

- CP1. 社会・人間諸科学におけるさまざまな研究分野を学ぶための科目の修得を通じ、理論と実践を融合し、複眼的な視点からの研究活動に応用する姿勢を身につける。
- CP2. 社会文化研究コースにおいては、とくに社会学、文化人類学、社会心理学の理論と研究法、及び社会調査の専門的技法を中心に習得することで、研究者として実証的研究を遂行するための知識、技術、倫理観を身につける。
- CP3. 臨床心理学コースにおいては、とくに臨床心理学の理論と研究法、及び臨床実践の専門的技法を中心に習得することで、各種の臨床現場において高い倫理観と職業意識をもって活動できる心理臨床家としての能力を身につける。

社会文化研究コース

CP1	情報学特論Ⅰ、Ⅱ、経済学特論Ⅰ、Ⅱ、経営学特論Ⅰ、Ⅱ
CP2	社会文化研究演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、社会学特論Ⅰ、Ⅱ、文化人類学特論Ⅰ、Ⅱ、社会心理学特論Ⅰ、Ⅱ、応用社会学特論Ⅰ、Ⅱ、応用人類学特論Ⅰ、Ⅱ、応用社会心理学特論Ⅰ、Ⅱ、社会調査法特論、多変量解析法特論、質的調査法特論、統計解析法特論、学位論文

臨床心理学コース

CP1	社会心理学特論
CP3	臨床心理学演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習、臨床心理実習、臨床心理学特論Ⅰ、Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理学研究法特論、心理統計法特論、発達心理学特論、教育心理学特論、犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）、障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）、精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）、心身医学特論、投映法特論、心理療法特論、心理実践実習Ⅰ・Ⅱ、学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）、グループ・アプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）、産業・組織心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）、心理教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）、学位論文